



東北大学 × JST-RISTEX

シチズンサポートプロジェクトによる
**孤独・孤立の
一次予防**

“ 楽観的な人は、同じように未来を描く ”

第17回 CS講演会

JST-RISTEX
一般公開セミナー
参加無料

2025年 9月 8日(月)
17:00▶ 18:00

会場 オンライン
(Zoomを予定)

定員 100名

お申し込みはこちら



※本取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX)より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)」研究開発プロジェクトにて実施するものです。(グラント番号:JPMJRS22K3)

なぜ、ある人々は他者と豊かなつながりを築き、またある人々は孤立するのでしょうか。近年、この問いに迫るうえで、価値観や世界観の共有といった視点が注目されています。本発表では、楽観性という個人特性を手がかりに、世界観の共有の神経基盤を探った最近の研究成果をご紹介します。こうした知見が、社会的孤立の問題を捉えるうえで、どのような新たな視座をもたらしうるのかを、皆さまと考えていければと思います。



神戸大学大学院 人文学研究科
准教授

柳澤 邦昭先生

2011年3月に広島大学大学院総合科学研究科博士課程後期修了(博士(学術))。2011年4月より日本学術振興会特別研究員(PD)として広島大学および京都大学にて研究に従事した後、京都大学こころの未来研究センターの研究員、特定助教、特定講師、神戸大学大学院人文学研究科講師等を経て、現在、神戸大学大学院人文学研究科准教授。専門は社会心理学、社会神経科学。

主催:東北大学「シチズンサポートプロジェクトによる社会的孤立・孤独の一次予防」研究班
共催:日本コミュニティ・シェッド協会

RISTEX
Research Institute of Science and Technology for Society

SOLVE for SDGs:
Preventing Social Isolation &
Loneliness and Creating
Diversified Social Networks